

# ビワ生育情報

千葉県  
平成24年4月号

## 平成24年3月の気象

平成24年3月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第1及び第3半旬を除く4半旬で平年と同じか上回った。特に、第2半旬では平年に比べ2.0℃高く、第3半旬では平年に比べ2.0℃低く推移し、寒暖の差が激しかった。月平均気温は9.1℃で、平年並みで、前年より0.7℃高かった。

第4半旬で氷点下を下回る日が1日あったが、平年に比べ少なかった。

最低極温は第1、第2及び第5半旬で平年を上回った。幼果が寒害を受けるような厳しい寒さはなかった。

降水量は第1、第2及び第4半旬で平年を上回ったが、第3半旬には降雨がなかった。月合計は200mmで、平年より18mm(10%)、前年より140mm(233%)多かった。

日照時間は第3、第5及び第6半旬で平年を上回った。月合計は156時間で、ほぼ平年並みで、前年より56時間(36%)少なかった。

表1 平成24年3月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	7.0	7.6	5.4	0	1.0	2	3.2	0.0	-2.7
2	10.1	8.1	8.1	0	0.8	0	3.2	0.4	0.1
3	7.0	9.0	10.7	0	0.7	1	0.3	0.8	-1.3
4	9.5	9.5	9.8	1	0.4	0	-0.7	1.9	1.6
5	10.2	9.9	7.8	0	0.3	0	3.7	2.1	-0.4
6	10.7	10.5	8.9	0	0.2	0	0.2	2.5	1.3
平均/計/最低値	9.1	9.1	8.4	1	3.3	3	-0.7	-1.4 <sup>*</sup>	-2.7

\*：3月の過去37年間の最低極温の平均値

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	90	24	1	7	26	26
2	47	22	20	6	26	39
3	0	29	0	43	25	36
4	23	21	1	21	24	42
5	34	48	40	31	24	11
6	6	39	0	47	29	59
合計	200	182	60	156	154	212

## 5月の作業 (果実の発育は次ページ)

ビワの袋掛けも終わり、展葉の終わった新葉は濃緑色になり、果実は成熟期を迎える。収穫の最盛期は6月であるが、5月からは早生品種の収穫が始まる。

### 収穫

早いところでは早生品種の収穫が5月の中旬頃から始まるので、収穫前にモノレールや

索道、道路を整備するとともに園内の草を払っておき、収穫道具や出荷用箱を揃えておく。1樹の収穫は2～3回に分けて完熟果実を収穫するが、特に1回目の初収穫では未熟果が混入しないように果色をよく確認して収穫する。

### 台木の養成

ビワの苗木は生産しているところが少ないので、自家生産しなければならない。収穫した果実から種子を採り、種まきして、台木用の実生苗を確保しておく。「楠」の実生は、播種後の肥大が早く、根張りが良いので、台木に適している。台木は播種後2、3年間養成して、幹が直径1.5cm程度の太さになったものを用いる。実生苗は、降雨によってごま色斑点病などが伝搬し枯死しやすいので、ビニールで屋根掛けして雨水を遮断する必要がある。

### 果実の発育

4月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が1.31cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ1.31cm、1.34cmであった。本年の横径は3品種共に平年より15～18%小さく、「楠」及び「田中」はほぼ前年並みで、「大房」は前年より10%小さかった。「大房」及び「田中」は地区によるばらつきが大きかった。

縦径は「楠」が1.79cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ1.78cm、1.81cmであった。本年の縦径は3品種共に平年より9～10%小さく、前年に比べ「楠」及び「田中」は2～3%大きく、「大房」は7%小さかった。

果形指数は「楠」が0.73、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ0.73、0.74であった。本年の果形指数は平年より低く、縦長の傾向である。

4月時点の果実の発育は、3品種共に平年より遅れている。本年は着花房率が高かったが、寒害による被害の発生が多かったため、着果量は平年並みである。また、病害虫はクワゴマダラヒトリの発生が平年並みで、果実の被害程度も平年並みである。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で平年より多いため、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、4月以降ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育 (4月1日の果径)

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	1.31	1.59	1.32	1.79	1.96	1.74	0.73	0.81	0.76
	青 木	1.27	1.62	1.43	1.80	2.00	1.90	0.71	0.81	0.75
大 房	南 無 谷	1.19	1.70	1.51	1.72	2.10	1.98	0.69	0.81	0.76
	暖地園研	1.46	1.49	1.44	1.83	1.88	1.88	0.80	0.79	0.77
	平 均	1.31	1.58	1.46	1.78	1.97	1.92	0.73	0.80	0.76
田 中	青 木	1.19	1.62	1.34	1.72	2.02	1.80	0.69	0.80	0.74
	南 無 谷	1.45	1.56	1.32	1.95	2.04	1.74	0.74	0.77	0.76
	暖地園研	1.38	1.51	1.33	1.77	1.94	1.77	0.78	0.78	0.75
	平 均	1.34	1.57	1.33	1.81	1.99	1.77	0.74	0.79	0.75

果形指数：横径／縦径

平年：1986年～2011年の26年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>